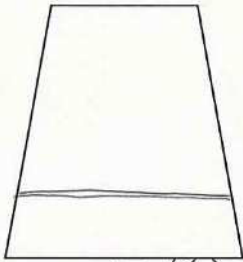
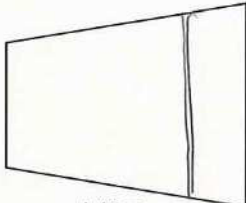
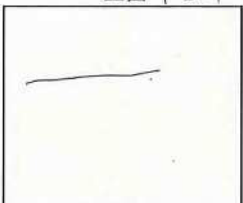
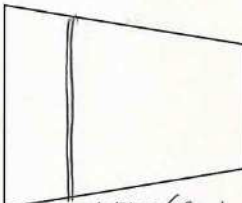
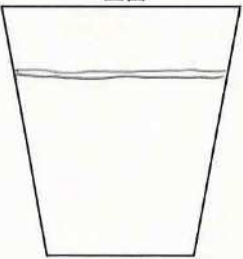


丸亀城跡石垣石材調査票

12-46-12
B-1611

石材番号	仮石材番号		テ-4036		調査年月日	令和4年3月2日		
部位	角石・角脇石・築石・その他(不明)				天端石・根石・その他(不明)			
積方	布積・乱積・その他(不明)				配石	縦・横・斜め(不明)		
加工	割石・その他()				石質	花崗岩・安山岩・その他()		
寸法	面縦長(cm)	27	面横長(cm)	44	控え長(cm)	78	重量(kg)	168
					尻縦長(cm)	27	尻横長(cm)	64
各種痕跡	有(矢穴・未割矢穴・ノミ・刻印等・墨書等・自然遺物・その他()) 無()							
	矢穴	面数	面		底ツキノミ		有・無・どちらともいえない	
		面/個数	長さ(cm)		深さ(cm)		底長(cm)	幅残(cm)
		正面 個						方向(面から)
		上面 個						
		右側面 個						
		左側面 個						
	背面 個							
	下面 個							
	未割矢穴	面 個						
面 個								
所見  上面(白)  左側面  正面  右側面(白)  背面(白)  下面 石材の状態表記 - 石材が破断..... - 石材に亀裂・傷..... - 石材が剥離・剥落..... - 石材の破断面..... - ノミ加工跡..... 割石(空白) ・丸亀城石材は割石で構成されている為 自然石材面(白)と注記する。 (略図:各種痕跡・加工範囲・加工工具等記載)								
石材の 状態	1. 目視・打音調査				2. 石材形状			
	A なし。 B 石材が破断している。 C 石材に亀裂が入っている。 D 石材が剥離・剥落している。 E 石材が風化等により劣化				A 石材の控えが極端に短くなっている。 B 石材の控えが左右どちらかに寄っている。 C 石材の背面石尻が極端に小さくなっている。 D 石材の控えが上がっている。 E その他			
石材の 分類	目地	荒目	中目	細目	備考()			
	色味	黄色	白色	ツートン	備考()			
再使用 の評価	A 現状のままで再使用が可能。 B 補修して再使用が可能 C 加工して再使用が可能。				D 新補石材への交換が必要だが、再加工して転用可能。 E 新補材への交換が必要で、転用が不可能。			
	第1次評価	(E)		評価理由	破断の為			
	第2次評価	(A)		評価理由				
	変更理由	(元位置判明時、再協議。)						
転用先	石材番号()							
特記事項								

石材番号	仮石材番号		調査年月日		令和4年3月2日		
部位	角石・角脇石・築石・その他(不明)		天端石・根石・その他(不明)				
積方	布積・乱積・その他(不明)		配石	縦・横・斜め(不明)			
加工	割石・その他(自然石)		石質	花崗岩・安山岩・その他()			
寸法	面縦長(cm)	面横長(cm)	控え長(cm)	重量(kg)	尻縦長(cm)	尻横長(cm)	
	93	48	87	252	37	27	
各種痕跡	有(矢穴・未割矢穴・ノミ・刻印等・墨書等・自然遺物・その他())・無()						
	矢穴	面数	面	底ツキノミ	有・無・どちらともいえない		
		面/個数	長さ(cm)	深さ(cm)	底長(cm)	幅残(cm)	方向(面から)
		正面 個					
		上面 個					
		右側面 個					
		左側面 個					
	背面 個						
	下面 個						
	未割矢穴	面 個					
面 個							

所見

上面 (白)

左側面 (白)

正面 (白)

右側面 (白)

背面 (白)

下面 (白)

石材の状態表記

- 石材が破断.....
- 石材に亀裂・傷.....
- 石材が剥離・剥落.....
- 石材の破断面.....
- ノミ加工跡.....

割石(空白)
・丸亀城石材は割石で構成されている為
自然石材面(白)と注記する。
(略図:各種痕跡・加工範囲・加工具等記載)

石材の 状態	1. 目視・打音調査			2. 石材形状		
	A なし。 B 石材が破断している。 C 石材に亀裂が入っている。 D 石材が剥離・剥落している。 E 石材が風化等により劣化			A 石材の控えが極端に短くなっている。 B 石材の控えが左右どちらかに寄っている。 C 石材の背面石尻が極端に小さくなっている。 D 石材の控えが上がっている。 E その他		
石材の 分類	目地	荒目	中目	細目	備考 ()	
	色味	黄色	白色	ツートン	備考 ()	
再使用 の評価	A 現状のままで再使用が可能。 B 補修して再使用が可能 C 加工して再使用が可能。					
	D 新補材への交換が必要だが、再加工して転用可能。 E 新補材への交換が必要で、転用が不可能。					
	第1次評価 (E)		評価理由 破断の為		R7.3/28 最終判定 (E)	
	第2次評価 (A)		評価理由			
変更理由 (元位置判明時、再協議。)						
転用先 石材番号()						
特記事項 テ-4095 と テ-4096 は同一石材。						

石材番号	H-17-33		仮石材番号	テ-4130・4991		調査年月日	令和4年3月30日	
部位	角石・角脇石・築石・その他()				天端石・根石・その他()			
積方	布積・乱積・その他()				配石	縦・横・斜め		
加工	割石・その他()				石質	花崗岩・安山岩・その他()		
寸法	面縦長(cm)	56	面横長(cm)	69	控え長(cm)	43	重量(kg)	778
	尻縦長(cm)	30	尻横長(cm)	40				
各種痕跡	有(矢穴)・未割矢穴・ノミ・刻印等・墨書等・自然遺物・その他()							
	矢穴	面数	面		底ツキノミ		有・無・どちらともいえない	
		面/個数	長さ(cm)		深さ(cm)		底長(cm)	幅残(cm)
		正面 2 個	6.5~7.0		4.5~6.0		5.5	2.5
		上面 1 個						
		右側面 1 個						
		左側面 1 個						
	背面 1 個							
	下面 1 個							
	未割矢穴	面 1 個						
面 1 個								

所見

石材の状態表記

- 石材が破断.....
- 石材に亀裂・傷.....
- 石材が剥離・剥落.....
- 石材の破断面.....
- ノミ加工跡.....

割石(空白)
・丸亀城石材は割石で構成されている為
自然石材面(自)と注記する。
(略図:各種痕跡・加工範囲・加工工具等記載)

石材の状態	1. 目視・打音調査		2. 石材形状	
	A なし。 B 石材が破断している。 C 石材に亀裂が入っている。 D 石材が剥離・剥落している。 E 石材が風化等により劣化		A 石材の控えが極端に短くなっている。 B 石材の控えが左右どちらかに寄っている。 C 石材の背面石尻が極端に小さくなっている。 D 石材の控えが上がっている。 E その他	
石材の分類	目地	罫目	中目	備考()
	色味	黄色	白色	備考()
再使用の評価	A 現状のままで再使用が可能。 B 補修して再使用が可能。 C 加工して再使用が可能。 D 新補石材への交換が必要だが、再加工して転用可能。 E 新補材への交換が必要で、転用が不可能。			
	第1次評価	(E)	評価理由	石材が石皮断れている。風化により劣化。キズが多数あり。
	第2次評価	(E)	評価理由	石材強度不足。
	変更理由	()		
転用先 石材番号()				
特記事項 テ-4130とH-17-33-① テ-4991とH-17-33-②とある。				

丸亀城跡石垣石材調査票

12-45-14 (A-2)A

石材番号	仮石材番号		調査年月日		令和7年2月26日		
部位	角石・角脇石・築石・その他(石01)			天端石・根石・その他(石01)			
積方	布積・乱積・その他(石01)			配石 縦・横・斜め(石01)			
加工	割石・その他()			石質 花崗岩・安山岩・その他()			
寸法	面縦長(cm) 測定不能	面横長(cm) 測定不能	控え長(cm) 測定不能	重量(kg) 326	尻縦長(cm) 測定不能	尻横長(cm) 測定不能	
各種痕跡	有(矢穴)・未割矢穴・ノミ・刻印等・墨書等・自然遺物・その他()・無						
	矢穴	面数	面	底ツキノミ	有・無・どちらともいえない		
		面/個数	長さ(cm)	深さ(cm)	底長(cm)	幅残(cm)	方向(面から)
		正面 個					
		上面 個					
		右側面 5 個	6.0~7.5	7.0~12.0	3.5~5.0	3.0	F→E
	左側面 個						
	背面 2 個	4.5	3.5	3.5	0.5	右→左	
	下面 個						
	未割矢穴	面 個					
面 個							

所見

上面

正面

下面

左側面

右側面

背面

石材の状態表記

- 石材が破断.....
- 石材に亀裂・傷.....
- 石材が剥離・剥落.....
- 石材の破断面.....
- ノミ加工跡.....

割石(空白)
・丸亀城石材は割石で構成されている為
自然石材面(白)と注記する。
(略図: 各種痕跡・加工範囲・加工工具等記載)

石材の 状態	1. 目視・打音調査		2. 石材形状		
	A なし。 B 石材が破断している。 C 石材に亀裂が入っている。 D 石材が剥離・剥落している。 E 石材が風化等により劣化		A 石材の控えが極端に短くなっている。 B 石材の控えが左右どちらかに寄っている。 C 石材の背面石尻が極端に小さくなっている。 D 石材の控えが上がっている。 E その他		
石材の 分類	目地	荒目	中目	細目	備考 ()
	色味	黄色	白色	ツートン	備考 ()
再使用 の評価	A 現状のままで再使用が可能。 B 補修して再使用が可能 C 加工して再使用が可能。				
	D 新補石材への交換が必要だが、再加工して転用可能。 E 新補材への交換が必要で、転用が不可能。				
	第1次評価 (E)	評価理由	破断の為 R5.5・最終判定(E)		
	第2次評価 (A)	評価理由			
変更理由 (元位置判明時、再協議。)					
転用先 石材番号()					
特記事項 破断が激しく接合不可能、寸法不明					

丸亀城跡石垣石材調査票

石材番号		仮石材番号	テ-4136	調査年月日	令和4年2月26日
------	--	-------	--------	-------	-----------

写真



石材正面



石材上面



石材左側面



石材右側面



石材背面



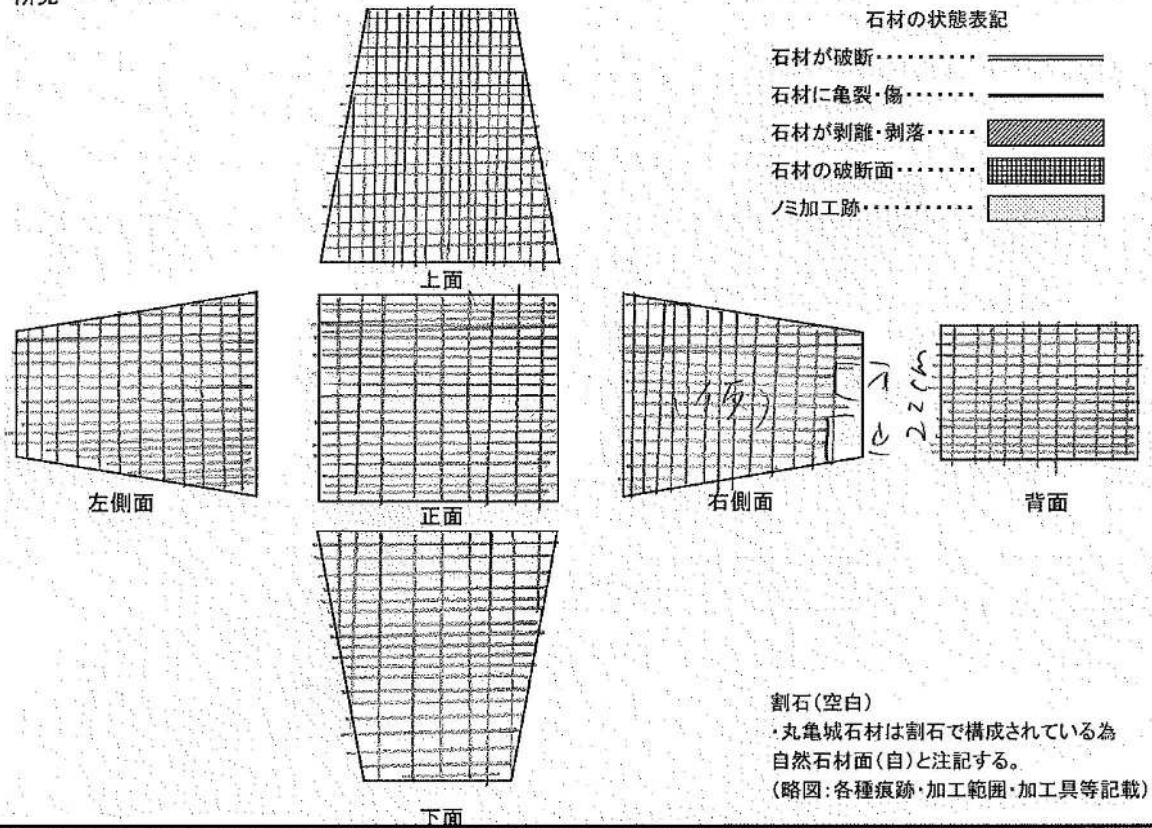
石材下面

特記事項

丸亀城跡石垣石材調査票

石材番号	D-48-19	仮石材番号	7-5128	調査年月日	令和4年6月7日
部位	角石・角脇石・築石・その他()		天端石・根石・その他()		
積方	布積・乱積・その他()		配石	縦・横・斜め (不明)	
加工	割石・その他()		石質	花崗岩・安山岩・その他()	
寸法	面縦長(cm) 不明	面横長(cm) 不明	控え長(cm) 不明	重量(kg) 206	尻縦長(cm) 不明
各種痕跡	有(矢穴・未割矢穴・ノミ・刻印等・墨害等・自然遺物・その他())・無				
	矢穴	面数	面	底ツキノミ	有・無・どちらともいえない
		面/個数	長さ(cm)	深さ(cm)	底長(cm)
		正面 個			
		上面 個			
		右側面 2 個	5.0~7.5	7.0~10.5	4.5~6.5
		左側面 個			
	背面 個				
	下面 個				
	未割矢穴	面	面		

所見



石材の状態	1. 目視・打音調査		2. 石材形状		
	A なし。 B 石材が破断している。 C 石材に亀裂が入っている。 D 石材が剥離・剥落している。 E 石材が風化等により劣化		A 石材の控えが極端に短くなっている。 B 石材の控えが左右どちらかに寄っている。 C 石材の背面石尻が極端に小さくなっている。 D 石材の控えが上がっている。 E その他		
石材の分類	目地	荒目	中目	細目	備考()
	色味	黄色	白色	ツートン	備考()
再使用の評価	A 現状のままで再使用が可能。 B 補修して再使用が可能 C 加工して再使用が可能。				
	D 新補石材への交換が必要だが、再加工して転用可能。 E 新補材への交換が必要で、転用が不可能。				
	第1次評価 (E)	評価理由 複数に破断元形状不明			
	第2次評価 (E)	評価理由 新材に交換。転用不可			
変更理由 ()					
転用先 石材番号()					

特記事項 破断が激しく結合不可能の為、寸法測定不可能。尚矢穴位置は仮定

寸法 測定不能

丸亀城跡石垣石材調査票

石材番号	D-48-19	仮石材番号	テ-5128	調査年月日	令和4年6月27日
------	---------	-------	--------	-------	-----------

写真



石材正面



石材上面



石材左側面



石材右側面



石材背面



石材下面

特記事項